

<本年度の研究について>

「書くこと」を大切にした教科指導

- (1) 国語科や各教科の「書くこと」の取り組みを継続していく。
 - 学習指導要領国語科の「書くこと」の目標を、確実に身につけることができるよう継続的に指導する。
 - 授業の中で、「書くこと」を効果的に取り入れる。
(調べたことを書く、聞き取ったことを書く、考えをまとめるために書く、気づきや学びを書くなど)
 - 子どもが「書きたくなる」指導法を工夫する。
(ワークシートの工夫、発問、書かせる場や量の設定など)
- (2) 「書くこと」を「伝え合う」につなげる実践を行う。
 - 例えば・・・ (新学習指導要領 改善の具体的事項より)
 - 低・・・見たことや知らせたいことを記録し、説明や紹介をする。
 - 中・・・調べたことや観察・実験したことを記録・整理し、説明や報告にまとめて書き、資料を提示しながら発表する。
 - 高・・・相手意識をもち、目的・意図に応じて自分の立場から解説や意見・報告を書き、理由や根拠を明確にしながら説明する。
 - 「伝え合う」ために必要なスキルの習得を図る。
 - ・朝・帰りの会のスピーチの時間を活用し、友達のスピーチにつなげて自分の発言ができるようにする。
 - ・グループやクラス全体で言葉で伝えあう場を設ける。
(コミュニケーションタイム)

心を耕す道徳教育

- (1) 道徳の時間の指導法を工夫する。
 - ・副読本を中心に、問いや感動が生まれる資料を選び、資料提示を工夫する。
 - ・多様な考えを引き出させる発問や板書を工夫する。
 - ・共感や切り返し、揺さぶりなど、効果的な教師の出を考える。
- (2) 道徳の時間の授業研究を行う。
 - ・全学級一斉に、道徳の時間を保護者に参観してもらう機会をもつ。
 - ・教材研究をし、資料の提示の仕方を工夫する。
- (3) 「やさしさいっぱいの日」の時期に、思いやりや生命尊重の内容項目の授業を行う。

健康教育

- (1) 「けやきウォームアップ」の基本的な指導法を周知、継続を図る。
 - ・体育科学習の中で、友だちと関わりながら俊敏性や巧緻性を高める運動を取り入れるよう工夫する。
 - ・現職教育で、体育部を中心に、指導法を周知する機会をもつ。(4月18日)
- (2) 季節に合わせた効果的な運動を取り入れる。
 - ・春・・・運動会 夏・・・水泳 冬・・・マラソン、なわとび など
- (3) 健やかな心身についての指導を行う。
 - ・養護教諭と各担任が連携を取り、心と体の健康教育について授業実践を行う。
 - ・放課の遊び方を指導し、安全に遊ぶことができるようにする。